

医療

早期発見・早期治療のススメ

シリーズ

歯科治療最前線

抜けた歯を元に戻せる方法とは

「歯の外傷治療と予防方法」

幼児期や学童期に多いとされる歯の外傷。不測の事態で起こるため事前予防はなかなか困難です。スポーツ界では「マウスガード」着用で予防措置をとっています。日常生活で起こる場合は防ぎきれない場合が多数あります。今回は「歯の外傷治療と予防方法」を取り上げました。

外傷の発生要因のトップは転倒

歯の外傷の発生要因は、転倒が一番多く、次いで衝突、転落、打撲、そして交通事故、殴打、スポーツなどでの衝撃が挙げられます。年齢的には幼児期の1歳から2歳頃、学童期の6歳から9歳頃に多発している傾向があります。また、足腰の弱



熊本インプラントセンター 添島歯科医院 添島 英輔 副院長

専門医からのアドバイス Q&A

「歯の外傷治療と予防方法」

歯が抜けても復元の可能性あり
歯が抜けても復元の可能性あり。抜けた歯を元の位置に戻し固定します。完全脱臼に大きく分かれ、部分的には上顎の中切歯(ちゅうせつし)といわれる上の前歯の真ん中の2本が最も多く、次いで下の中切歯が続きます。臼歯(奥歯)は少ないですね。

歯の外傷治療はどのようにされるのですか?
歯冠破折で神経まで到達していない場合は、神経まで届いていたら歯髄処置が必要となります。治療期間は平均4、5回の通院で済みます。歯根破折の場合は抜歯になるケースがほとんどです。次に亜脱臼の場合、歯を元の位置に戻し固定します。固定期間として約1カ月から3カ月を要します。完全脱臼の場合は元の歯が使用できる状態であれば歯を戻し噛み合わせも調整します。固定期間として約3カ月から6カ月の期間が必要です。歯が抜けたらすぐに生理食塩水、精製水や、なければ牛乳などで保存します。いずれもなければ口の中にくわえたまま、できれば30分以内に歯

歯の外傷の予防方法は何かあるのでしょうか?
多くの場合、突発的なことが多いため、転倒や衝突などを起こさないようにすることが大切です。特に小さい子どもや高齢の方々は、周囲の人たちが注意しておく必要があります。また、スポーツ関係ではマウスガード着用をお奨めします。いずれにしても外傷を受けたら早目に治療を受けてください。

症状は破折から脱臼まで
まず、歯の頭の部分が折れる「歯冠破折」、歯の根が折れる「歯根破折」、歯根膜が切れて歯が抜け落ちていない状態の「亜脱臼(不完全脱臼)」、完全に歯が抜けて

完全脱臼になると歯が抜けてしまった状態。抜けた部位から当然出血があります。特に完全脱臼の場合は抜けた歯の良好な保存(精製水などでの保存)と緊急治療(できれば外傷後約30分以内)で歯を元に戻せることもできる場合があります。注意しなければならぬのは水道水で洗わないこと、歯を乾燥させないことが重要です。

外傷の症状が軽い場合でも、その後しばらくしてから症状が出る場合があります。そのまま放置しておくと、治療してもなかなか良くならない場合があります。いずれにしても外傷の大小にかかわらず、早急に現場近くの歯科医院で治療を受けることが大事です。

早急な治療で回復

抜けた歯を元の位置に戻し固定します。固定期間として約1カ月から3カ月を要します。完全脱臼の場合は元の歯が使用できる状態であれば歯を戻し噛み合わせも調整します。固定期間として約3カ月から6カ月の期間が必要です。歯が抜けたらすぐに生理食塩水、精製水や、なければ牛乳などで保存します。いずれもなければ口の中にくわえたまま、できれば30分以内に歯



熊本インプラントセンター 添島歯科医院
(社)日本口腔インプラント学会指定研修施設
熊本インプラントセンター
添島歯科医院
熊本市桜町1-28-205 桜町センタービル2階
TEL 0120-354-508
http://www.soejima-sika.com/

地域医療最前線

増加する成人の鼠径ヘルニア



診療部長 鶴田 豊

成人の鼠径ヘルニアは非常に多い病気です。自然治癒はせず、根治のためには手術が必要です。9月1日から鼠径ヘルニア外来を開院し、腹膜外腔アプローチによる腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術などを実施している鶴田病院 熊本市保田窪本町の鶴田豊診療部長に、成人の鼠径ヘルニアについて聞きました。

痛みを伴う嵌頓は緊急手術が必要

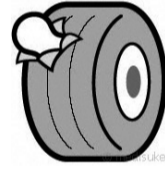
鼠径ヘルニアとはどんな病気ですか。
鶴田 鼠径ヘルニアは、お腹の中にあるはずの小腸などの一部が、もの付根(鼠径部)の筋膜の間から皮膚の下に出てくる病気です。左記のイラストのようにタイヤの弱くなった部分から、内部のチューブが突き出ているのに似ています。患者さんは乳幼児から高齢者まで幅広く分布していますが、特にもの付け根の筋膜が弱くなる40歳以上の男性に多く起こる傾向があります。

術後痛が少なく、体に優しいTEP法

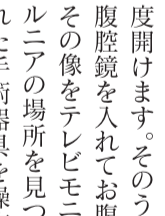
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術法(TEP法)とはどんな手術ですか。
鶴田 腹膜外到達法による腹腔鏡下ヘルニア修復術(TEP法)は、従来から行われていたお腹を切開する開腹手術(オープン法)と異なり、まずお腹に3mmから5mmの小さな穴を3カ所程度開けます。そのうちの1つの穴から腹腔鏡を入れてお腹の中を映します。その像をテレビモニターで観察してヘルニアの場所を見つけ、別の穴から入れた手術器具を操作して患部の治療をします。腹腔鏡下手術は、視野が限られたモニターを見ながら、人工補強材を用いて鼠径部の腹壁の補強を行いますので、大事な血管や神経などを傷つけたりしないように、また、手術器具を安全・確実に操作するために高度なテクニックが必要とされています。

鼠径ヘルニア外来を開院

9月1日から鼠径ヘルニア外来を開院しました。
鶴田 TEP法は優れた術式ですが、技術的な問題や設備の問題から残念ながらあまり普及しておらず、一般にも知られていません。鼠径ヘルニアは比較的頻度の高い疾患ですが、部位的な問題から受診を敬遠される方も多いようです。また、長期間放置しカントンを起こし救急搬送されるケースもしばしば経験します。以上のこともあり、当院では9月1日から鼠径ヘルニア外来を開院しました。前述の症状・状態があり、お気軽にご相談ください。



鼠径ヘルニアの症状は、①不快感や痛みを感じる②立った時やお腹に力を入れたとき、鼠径部に柔らかい腫れを感じる③指で押さえると通常は引っ込む④腫れが急に硬くなり、指で押さえても引っ込まなくなり、不快感や痛みを伴う。この症状は嵌頓(かんどん)といい、緊急手術が必要です。



腹腔鏡下ヘルニア修復術(TEP法)のイメージ



▲実際のTEP法の術後の傷

医療法人社団 鶴友会 鶴田病院
〒862-0925 熊本市保田窪本町10-112
TEL096-382-0500 FAX096-382-0592
診療科目: 外科, 消化器内科, 消化器外科, 内科, 循環器内科, 呼吸器科, 泌尿器科, 整形外科, リハビリテーション科, 肛門科, 放射線科, 脳神経外科
診療受付: \*月~金曜日\* 8:40~12:00, 13:50~17:30; \*土曜日\* 8:40~12:00; \*休診日\* 日曜・祝日
http://www.kakuyuukai.or.jp